

所在地:	東京都八王子市石川町2967-3		
敷地面積:	21950㎡	延床面積:	30105㎡
設立:	1963年7月	従業員数:	1113名
ISO14001取得:	1998年7月	ISO14001最新更新:	2007年7月
主要製品:	カーオーディオコンポーネント、カーナビゲーションシステム、ホームオーディオコンポーネント等		
環境コミュニケーション:	08年度		
情報開示:	1件	工場見学:	0名
問合せ:	人事総務部 環境推進G	地域貢献活動:	20件
		TEL:	042-646-5111



ごあいさつ

当サイトは、緑豊かで多くの学生が生活する学園都市である八王子にあり、最寄の北八王子からの道並みでは小鳥のさえずりが聞ける静かなところにあります。事業所としては1998年にISO14001を認証取得し、カーエレクトロニクス及びホームエレクトロニクス開発の中で、商品の化学物質規制への対応や、省資源、省エネルギーと事業活動における環境負荷低減を継続的に行っております。特にカーエレクトロニクス商品では、車載器という厳しい環境下の中、信頼性と環境面を両立させた商品の開発を進めています。



八王子事業所長
江口 祥一郎

2008年度の環境重点テーマの取組み

目標	成果
省エネルギーの推進 CO2排出量を2,101.3t-CO2 [※] 以下とする。	CO2排出量1,935.6t-CO2 [※] (目標に対し108.6%)
事務用紙使用量の管理 管理活動の定着を図る。	管理目標1,841,327枚に対し1,554,611枚(118.4%)
社会貢献活動 ペットボトルキャップ回収によるワクチンの寄付	8月より回収活動を開始 回収実績84,385個(ポリオワクチン換算211人分)
	※ 使用エネルギーのほとんどは電力で、換算値は社内基準係数を使用しています。

製品・環境配慮ポイントの紹介



カーエレクトロニクスでは、目標を定め軽量化に取り組んでおります。2DIN DVD-Receiver DDX8024BT では、同型モデル比で4.5%の軽量化を達成しました。



車載用アンプのKAC-X1D, X4Dでは、小型化、軽量化に取り組み、徹底的に細部の見直しを行い、前モデル比49%の小型化を達成。その大きさはクラス世界最小サイズを実現しました。

ホームオーディオでは、高音質なデジタルアンプの開発を進めております。KAF-A55では、アナログアンプと比較して動作時消費電力を77%削減できました。

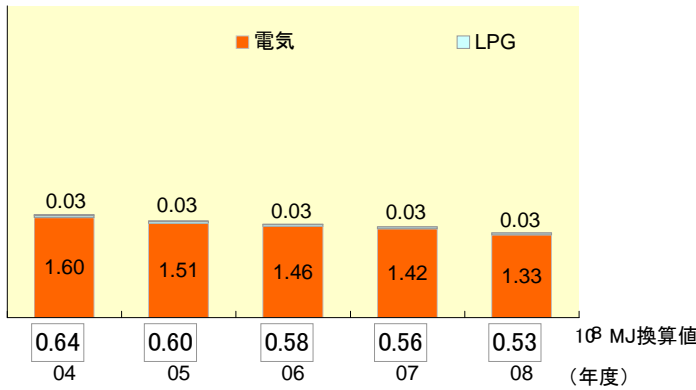
→製品情報へリンク

<http://www.kenwood.co.jp/products/index.html>

環境パフォーマンスデータ グラフ表示年 2007:2007年4月1日~2008年3月31日

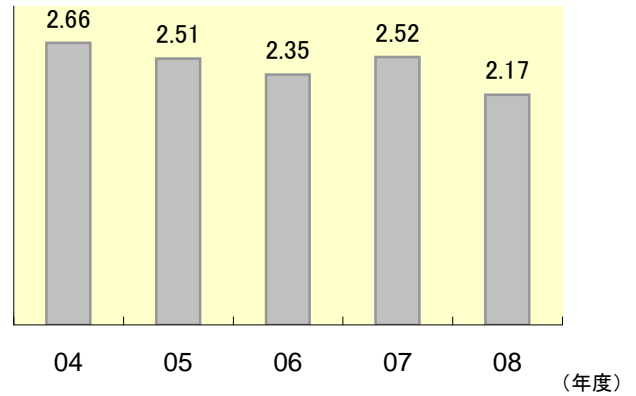
エネルギー使用量

単位:千kl



CO2排出量

単位:千t



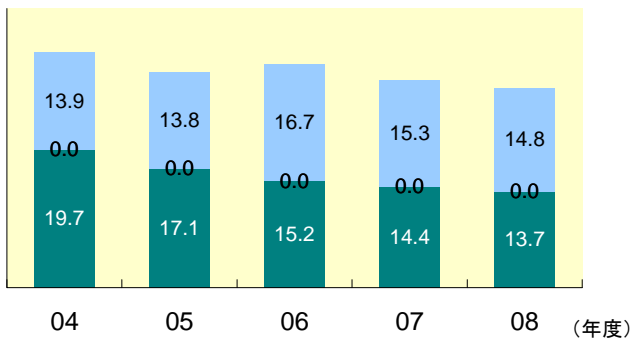
算出基準について

2008年度の電力/CO2換算は0.417kg/kwhを使用、その他燃料も省エネセンター公表の換算値で算出しています。

水の使用量

単位:千m³

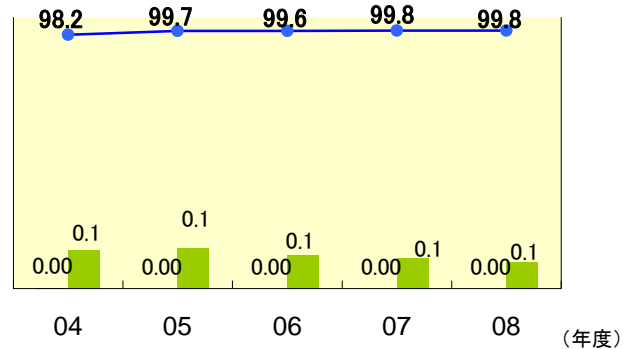
■ 上水道 ■ 工業用水 ■ 河川・湖水 ■ 地下水



産業廃棄物・有価発生物

単位:千t、%

■ 最終処分量 ■ 発生量 ● リサイクル率



循環的使用量

雨水使用量

0

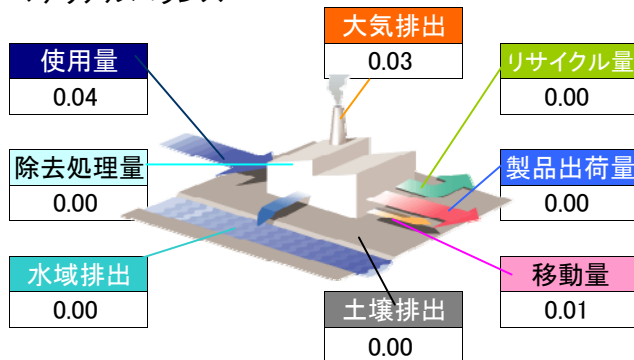
0.00 m³ 0.00 m³

化学物質

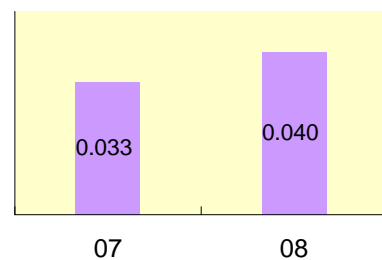
単位:t

マテリアルバランス

08年度



重点削減物質 排出・移動量



環境パフォーマンスデータの特記事項

環境法令等の順法状況 08年度

<大気汚染物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm3/h	環境棟ボイラ	-	-	0.02		1回/年
		C棟4号ボイラ	5.52	5.24	0.07		1回/年
					0.00		
NOx	ppm	環境棟ボイラ	-	-	42.00		1回/年
		C棟4号ボイラ	-	-	64.00		1回/年
					0.00		
ばいじん	g/Nm3	環境棟ボイラ	0.30	0.29	0.00		1回/年
		C棟4号ボイラ	0.30	0.29	0.00		1回/年
					0.00		

<水質汚濁物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	N/A			0.00		
					0.00		
					0.00		
BOD	mg/l	B棟前マンホール	600未満	570以下	33.00	36.00	1回/年
					0.00		
					0.00		
窒素	mg/l	B棟前マンホール	120未満	114以下	0.00	20.00	1回/年
					0.00		
					0.00		
リン	mg/l	B棟前マンホール	16未満	15以下	0.79	1.00	1回/年
					0.00		
					0.00		

<騒音・振動>

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼 N/A					
		夜 N/A					
振動	dB	昼 N/A					
		夜 N/A					

法令規制値:法または条例および協定の規制する値

N/A:法令規制対象外の項目

法令規制値超過について

報告すべき事項はございません。

指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
報告すべき事項はございません	

環境方針

【 環境理念 】

ケンウッドグループは、「新鮮な驚きや感動で人々に幸せな気持ちを創ろう」という企業ビジョンの下、全世界においてグローバルな事業展開を目指す中で、大切な地球環境の継続的な維持・改善により社会的責任を果たし、持続的発展が可能な社会づくりに貢献していきます。

【 環境方針 】

ケンウッドグループは、カーエレクトロニクス・コミュニケーションズ・ホームエレクトロニクス の3つのコア事業活動とその提供する製品およびサービスが環境に与える影響を十分に認識し、継続的改善により地球環境と資源の保全を図り、環境に配慮した製品づくりに次のとおり取り組みます。

1. 温室効果ガスの排出を最小限とする為、事業活動の効率向上および製品の企画・開発・生産・物流・使用・廃棄までを考慮した製品のライフサイクルにおいて、省エネルギー活動を積極的に推進します。
2. 限りある地球資源のため、製品づくりおよび事業活動において省資源・リサイクルに関する活動に取り組み、循環型社会をめざします。
3. 汚染予防の重要性を認識し、取引先様とパートナーシップを組み、環境汚染物質削減を継続的に推進します。
4. 環境活動に関連する法令およびその他同意する要求事項を順守します。

この環境方針は、全社員に周知し、一般の方へも公開します。

2009年 6月26日

相神 一裕
株式会社ケンウッド 代表取締役社長

環境負荷削減の取り組み事例



ハイブリット車の導入
環境負荷の低減として脚光を浴びているハイブリット車を会長車(クラウン)と事業部車(シビック)に導入しました。



遮光フィルム

事業所の窓に遮光フィルムを貼り付け、特に夏場の温度上昇を抑えました。2004年に施工し、夏場の6月～9月の4ヶ月間で約26.8t-CO2の削減効果を算定しました。

廃棄物のゼロエミ継続

2006年にゼロエミを宣言してから、以降継続しております。2008年度は99.8%と高いリサイクル率を維持しております。

セタライトダウンへの参加

北海道の洞爺湖サミットに合わせて、2008年から「セタライトダン」が開始され、当事業所も参加しました。合わせて従業員の家族にも参加を呼びかけ家庭でのライトダウンを実施いたしました。

環境コミュニケーション事例



浅川クリーンキャンペーン

JR西八王子駅から浅川沿いに市役所裏浅川河川敷広場までの満開の「桜」の中、清掃に参加しました。

石川公園の清掃活動

事業所のある石川公園を清掃しています。時折、遊びに来ていたお子さんが手伝ってくれたり、応援してくれる小学生もいて、地域の暖かさを感じます。